

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 27 年 9 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491900142		
法人名	医療法人社団 岡崎医院		
事業所名	ふれあいの家 えんや		
所在地	広島県三次市十日市西三丁目13番1号 (電話) 0824-65-0722		
自己評価作成日	平成27年8月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=3491900142-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成27年8月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

法人の理念である「その人らしく 生きる力に寄り添うチカラ」を念頭に、ご本人の思い・家族の意向を大切に、その方その方の個別ケアが実践できるよう頻回にカンファレンス・振り返りを行って統一を図っている。ユニットにこだわらず一つの家ととらえ、入居者の方々が建物内を自由に行き来し、思い思いに交流をとって頂いておりスタッフ、全員でその方その方を支えている体制をとれるよう心がけている。法人のバックアップ体制も整っており、事業所のみでのケアにとらわれず医師・看護師・リハビリ専門職・管理栄養士等の多種連携がとれるよう連絡を密にしている。また「地域とともに 地域のために」の基本理念のもと、地域の方に、認知症に対する理解を深めて頂く機会と、認知症の方々が地域で暮らしていく事ができるような町づくりを目指し、入居者の方々に地域の行事への参加や日々の外出、庭での作業等で入居者が生き生きとされている場面に触れて頂けるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人理念である「地域とともに、地域のために」を実践に活かしている。具体的には、月1回程度、地域包括支援センターより認知症サポーター養成講座の講師役を依頼されて、管理者・代表者が学校、企業、地域の集会などで講師を務め、地域の認知症理解の促進を図っている。また、夏祭りなどを通じて、地域の方と顔の見える関係をつくり、認知症に関する家族からの相談を随時受けている。また、本人、家族の意向を大切に、特に関わりを強く持つ利用者をその日ごとに決め、入居者活動表（本人の好きなこと、過去やっていたこと、趣味など）を参考に、本人が希望し、生きがいを感じ得る日々の実現を図っている。年に1回以上行う介護計画の見直し時には、必ず家族、主治医が参加し、より良い介護計画となるように努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(ひだまり)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を玄関に掲示している。日々のケアの中では理念をケアの目標としている。朝のミーティングでは一日の活動、支援の目標として実践につなげている。	法人介護事業所の理念である「その人らしく、生きる力に寄り添うチカラ」を職員全員で共有し、実践につなげている。朝のミーティングでは、特にかかわりを持つ方を決め、その人が好きなこと、やってみたいことをスタッフが個別に聴き、その人らしい一日が送れるように支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	行事には地域の方へもお知らせをし、参加して頂けるよう呼びかけを行っている。入居者もとんどや盆踊り等へ参加できるよう地域からの呼び掛けも頂いて参加されている。	事業所主催のえんや祭り（夏祭り）には、地域の方、ボランティア、子どもなどが参加し、事業所のことを理解してもらい、交流も行っている。日常的には、野菜の販売やパン屋さんの訪問もあり、好きなものを買って、利用者も楽しみにしている。	認知症サポーター養成講座や、家族の方からの相談支援を受けており、地域の支援を着実に進めている。今後は、認知症カフェなどの気軽に立ち寄れる場所づくりに向けて、さらなる事業所の取り組みについて期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザー、キャラバンメイトを配置して、地域の相談窓口として利用頂けるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議の内容については、すべての職員が確認できるように会議録をスタッフ全員で共有している。またミーティングにおいて改善点についての取り組みを行っている。	市職員、地域包括支援センター職員、民生委員、自治会長、家族などが参加し、事業所の行事の報告や市職員からの情報提供などを行っている。出された意見の中で、災害対策について、部屋のベッド上の壁に利用者の写真と名前を貼り、名前と顔が一致するように改善された例もある。	運営推進会議への家族の参加が少ない状況である。家族へ、会議の議事録の配布をし、関心を持ってもらい、参加が増え、活発な意見交換の場となるような取り組みを今後期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議のメンバーに市担当者が在籍されており、意見交換と情報の提供ができています。また認知症家族の会の担当職員とも連携をとり、入居者が継続して参加できるよう取り組んでいる。	地域包括支援センターからの依頼があり、認知症サポーター養成講座を月1回のペースで施設の代表者が受け、企業、地域住民の集まり、学校などで講師役を務めたり、市の依頼を受けキャラバンメイトとして積極的に責務を果たし、事業所と市町とは緊密に連携を図っている。外部評価の結果についても、市が参加する運営推進会議で報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>研修やカンファレンスを実施する事により、全職員に身体拘束をしないケアの実践が出来ている。玄関の施錠は夜間の防犯目的で行い、入居者の居室の施錠については、行動制限ではなく家族・ご本人の了承を経て安全確保のために行っている。</p>	<p>年間計画を決めて、身体拘束、虐待の研修などを実施している。一人ひとりの状況に応じて、カンファレンスを開き、ベッドの下にセンサーなどを設置する際にも、本人の心理的負担にならないように場所なども検討し、設置している。玄関は、日中は手動で開けられるようにしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待に関する研修に参加し、参加した職員から他の職員に伝達している。自分たちのケアを振り返り、未然に防ぐ事に努めている。また、アンケートを実施し、日頃の対応について振り返りを行った。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関する研修への参加、また参加した職員から他の職員への伝達や、担当者会議において家族に説明する事で周知している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には十分な時間をとり、入所者や家族に説明し不明な点が無いように配慮している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族とは、介護保険更新時や状態変化のあった時等定期的なカンファレンスを実施することにより意見や要望を頂いている。入居者からは日々の会話や行動の中から要望をくみ取る事で適時対応している。</p>	<p>家族からの意見としては、職員の顔が分かりにくいということがあり、月1回請求書と一緒に発行する「えんや新聞」に職員の紹介や異動を掲載し報告している。利用者の要望は、担当職員が寄り添いながら食べたいもの、行きたいところなどの意見を聞いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>意見のだしやすい関係を築く為にしっかりとコミュニケーションが図れる様に、毎朝のミーティングやカンファレンスを実施し、職員から意見が出せるようにしている。</p>	<p>業務の流れ、記録の仕方、利用者の席の配置など職員の意見を反映した取り組みを行っている。具体的には、利用者の方の帰宅願望などがあり、朝に人員が多く欲しいときには、早出の職員を2名体制にするなどの取り組みを行ったことがある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談を定期的実施し、職員の働きやすい環境づくりや思いや問題点を把握している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>代表者は一人一人のスキルを把握し職員に応じた研修機会を設け支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>法人の代表は他職種交流会や研修会を主催し、職員へも参加を推進している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居者より面会、聞き取りを行い、入居にあたっての要望、不安、生活歴を把握し思いをくみ取れるよう関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前より家族と話ができる時間を十分にとり、不安や要望を伺い準備を行っている。担当職員を決め、積極的にコミュニケーションをとり関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前の情報収集を細かく行い必要とされる支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努める。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	何事も入居者中心に行う事を心掛け、一緒に過ごすようにしている。入居者同士の気遣いや支え合う場面が多く引き出せるよう支援している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会や外出等家族の役割を計画書に盛り込み、一緒に本人の力となるよう関係を築いている。 職員は家族と本人がうまく関われる様に本人の状態を説明したり、認知症に対する理解、受け入れが出来るよう相談に応じている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人と近所の友人宅へ歩いて一緒に訪問したり、地域の行事、集会などに参加できるように一緒に日程の確認をしたり送迎の支援をしている。	以前住まれていた地域の方が訪ねてくることもある。地域の敬老会への参加の招待が届いたりする場合もあり、施設より送迎を行う場合もある。若年性認知症の家族の会などにも参加し、以前の職場の人がホームに尋ねてくる場合もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個々の個性を把握し、活動や役割等の生活を通じて仲間づくり、お互いに支え合う関係を築いている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービス利用終了後も経過を家族が報告してくださり、面会も実施している。本人家族の支援も継続している。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者と家族とカンファレンスを行い、生活について意見や相談に応じている。個々に合った生活が出来るように支援している。	担当職員（利用者2～3名に職員1名）がアセスメントを行い、入居者活動票（1枚の紙に全利用者の本人のしていたこと、得意なことが一覧になっている）を作成し、その日の職員のかかわりの参考にしている。最低でも1年に1度は家族と話し合う場を設け、意向の確認を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族、サービス機関に聞き取りを実施し情報を得るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居後は24時間シートを活用し、心身状態・生活パターンの把握を行っている。役割や活動を一緒に行い個別マニュアルを作成し、情報が把握しやすくなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月モニタリングを実施し、それを元にカンファレンスを実施し、計画書に反映している。カンファレンスには家族・主治医・管理者・計画作成担当者が参加している。</p>	<p>月に1回は担当職員がモニタリングを行い、介護支援専門員は3カ月に1回モニタリングを作成している。1年に1回以上行うカンファレンスでは、家族、主治医の都合に合わせて毎回必ず参加し、介護計画に対しての意見をもらっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>1日のようすや、気付き、変化を記録しカンファレンス時にも活用している。管理者と職員で確認している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>変化するニーズに対して、法人全体でバックアップ体制を敷いている。迅速に対応し連携をとっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域行事や催しに参加し、ボランティアの方にも協力して頂き、楽しんでいただき活動・行事を行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医の往診と歯科、眼科等希望の病院にも職員が付き添い、支援をしている。</p>	<p>協力医療機関以外でも、本人家族の希望があれば以前のかかりつけ医の受診は可能である。月2回は往診の機会を設けている。発熱などの体調の変化があれば家族へも報告をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>法人の携帯電話を使用し、24時間連絡できるよう、体制を整えている。状態の変化や内服等について、相談できるように体制を整えている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中は治療だけでなく、医療機関に情報提供をしたり、相談に乗っている。家族と一緒に病状説明に立ち会い、方針についても共に検討している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に家族へ聞き取り、看取り対応について事業所でできる対応を説明している。</p> <p>入居者家族の希望を重視した支援が出来るようカンファレンス等で、主治医、看護師と情報共有を行っている。</p>	<p>入居時に「重度化した場合における終末期ケアの指針」という文書を家族と交わし、説明している。また、実際に終末期近くになると救急搬送するかどうかなどの意向を、再度家族へ確認している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>定期的に研修を実施し、救急時の対応マニュアルを分かりやすく作成する事で、全職員が対応できるよう取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に避難訓練を実施し、地域の消防団や消防署とも連携を図っている。災害時の避難場所の確認や連絡方法、協力体制などについても確認・指導を受けている。</p>	<p>年2回、日中と夜間を想定した避難訓練を行っている。消防署の立会い、地域の方も参加しての訓練も行っている。運営推進会議でも地域の消防団の方の意見をいただき、消火器を外部の方の目に付きやすいように、玄関付近に設置したこともある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の家族の立場になり、一人一人に合った掛け声や接し方をしている。プライバシーに配慮した環境づくりの確保に努めている。	馴れ合いになってくる言葉づかいも職員同士が互いに声を掛け合って注意するような体制ができている。接遇の研修は、外部研修に参加し、出席した人が内部で研修を行い、伝達するようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	会話や言葉かけだけではなく、表情や仕草等から思いをくみ取り、入居者が選択しやすいうように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床、食事、入浴の時間等、入居者の体調や意思に合わせて生活できる様支援している。日程や活動についても一緒に相談しながら決定している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	希望があれば地域の美容師に来て頂いている。行きつけのある方は、予約・送迎の援助をしている。入居者のこだわりを添えるように支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	嗜好の把握、聞き取り、摂取状況のより、個々に合ったものを提供している。また盛り付けや食器洗いなども協力しながら行っている。	朝、昼、夕の3食すべて手作りにて行っている。利用者も下ごしらえや盛り付けなど個別にできることを行い、役割を持っていただいている。時には、外食なども行い、食事が楽しみになるような支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	個別ケア表に食事、水分量を記録し、個々に合った形態を提供している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後、口腔ケアを行い義歯洗浄も行っている（毎晩） また、個々に合った支援を行っている（見守り、介助）		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	オムツフィッター3級を所持している職員が在籍しており、入居者ごとの排泄パターンを把握し支援に役立てている。またおむつメーカー職員講師による勉強会も予定している。	入居後には、24時間排泄チェックシートを使用し、排泄パターンを把握している。夜間の排泄についても、利用者の睡眠を妨げないようにし、職員の負担も軽減するような、排泄の支援を行っている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	排泄確認を行い、食事、水分量を確保している。乳製品、食物繊維の多い食材を取り入れるなどし、便秘予防に努めている。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の場合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	入居者の希望される時間、回数、方法で入浴できるように支援している。順番も相談し、体調や状況に合わせた調整を行っている。	入浴は週に2～3回程度で、本人とも相談しながら行っている。使い慣れている、石けん、タオルなどを使用している。時には、日帰り旅行の際に、温泉に入るなどの楽しみの支援も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	入居者一人一人の生活ペースや体調に合わせて、休憩や睡眠をとってもらっている。ホールでも心地良く過ごして頂けるよう、ソファやお茶を置くためのテーブルを配置している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方について変更等の確認を行い変更理由や目的について確認している。服薬マニュアルに沿って、個々の能力に応じた服薬方法で支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	生活歴等のアセスメントを参考に個々の生活活動表について、カンファレンスを実施し活動表を作成している。毎日活動表に沿ってケアを実施している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	普段から個々に合った場所へ外出し地域の方や自然と触れ合える機会を作っている。また、普段は行けないような場所でも、ひだまりの会や家族、地域の人と協力しながら外出できるように支援している。	その日の希望によって、日用品、食料品などを買うにスーパーに出かけることもある。喫茶店へ行き、お茶を飲むこともある。花見や紅葉狩り、生家への訪問、柏餅の葉を取りに行くなどの支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	外出時は入居者が選んで購入できるように、支払いなどの見守り支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人や家族の希望に応じて電話が利用出来たり、手紙が送れるように支援している。必要であれば内容の確認をしたり、会話の橋渡しをしている。面会に来られない家族からの手紙を読み、家族の存在を身近に感じる事が出来ている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	落ち着いたきのある空間作りに努め、温度や湿度などにも配慮している。季節の花を飾ったり、掃除を行いなじみの空間になるよう配慮している。年末年始のお飾りや雛まつり、端午の節句に人形を飾る等して季節感を味わって頂いている。	居心地のいい空間となるように、ソファやいすを配置し、利用者の座る場所もほぼ決まっている。季節の花を摘んだり、なじみの店で購入し、テーブルに飾り、季節感を感じてもらえるような工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共有空間には複数で座れるソファを置いたり一人で座って眺められる空間を設置して思い思いに過ごされる場所を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れたものや家具を自由に置いている。入居時には持って来られている物の配置等を本人、家族と相談しながら部屋づくりを行っている。また入居後も本人の希望や身体状況等に応じて入居者と相談しながら掃除や配置について考えている。	落ち着いた雰囲気を出すように、自宅より使い慣れたものを一つは持参していただいている。テレビやタンス、冷蔵庫、仏壇など、使い慣れたものを使用し、配置も本人、家族と相談し行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室、トイレ、風呂などに暖簾や表札を付け、分かりやすくして自分で移動できるようにしている。目のつく所に日めくりカレンダーを置き、日付が分かるようにしている。洗濯機のボタンに番号を付ける等自分で作業が分かるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(こもれび)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を玄関・事務所に掲示して理念の確認をしている。 いつでもケアが実践につながっているか確認もしている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のお祭りやとんどなどに入居者、職員が参加している。 えんや祭りなど広告を出し、参加呼びかけをし交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症アドバイザーやキャラバンメイトを配置し、玄関に相談窓口の張り紙をし活用して頂けるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議での内容は職員全員が把握できるように書面にて手確認している。 意見は各担当者に伝達し業務改善に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議に市の担当者が入っておられ、情報提供を行ったりアドバイスを頂き連絡を密に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>夜間の防犯目的の施錠や入居者の安全のためのセンサー使用は家族の同意のもと行っている。 全職員研修に努め、身体拘束のないケアを実践している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修会に参加し虐待の防止が出来るよう、全職員に徹底している。 職員同士で注意を払い防止に努めている。また、アンケートを実施し日頃の対応について振り返りを行った。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在入居者の方も制度を利用されておられ、支援を行っている。 制度について理解が出来るよう研修をしっかりと行い支援するようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、入居者や家族に対して、不安や不明な点が無いように説明を分かりやすいよう配慮している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見、要望を出しやすいように、受付の所にご意見箱を設置している。 また家族とはカンファレンスを実施し意見、要望を頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンスやミーティング時に各職員の発言を促し、意見を出せる機会を作っている。 その都度話し合いを行い、すぐに結果を反映できるようにしている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談を実施し、職員の思いや問題点を把握し、働きやすい職場となるように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個々のスキルを把握し、研修会への参加が出来るようにしている。 カンファレンスに参加してケアの必要性や意味について理解できるように指導している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	多職種連携の研修や外部での研修に参加できる機会を作り、他の事業者との交流が出来るようにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前には個別に応じて面会や聞き取りを行い、生活歴や様子を知る為に自宅への訪問を実施し入居後も今までの生活が可能な限り継続していけるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前から家族と話ができる時間を十分にとり、不安や要望を伺い準備を行っている。担当職員を決めて積極的にコミュニケーションを図り、関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前の情報収集を細かく行い、必要とされる支援を見極めて、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者同士の気遣いや支え合う場面が多く引き出せるように支援している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員は家族が本人と上手く関われる様に本人の状態を伝えたり、認知症に対しての理解や受け入れができるように相談に応じている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>近所の友人のお宅へ一緒に訪問したり、行きつけの集会や地元の美容院、行事等に参加できるよう送迎など支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>入居者の個性の把握に努め、活動や役割で入居者同士が関わり合い、助け合いが出来るように支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>利用終了後も家族が経過を報告してくださったり、家族への支援も継続している。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>入居者や家族との会話や面談の中で意見や想いを確認している。その時々でカンファレンスを実施し全職員がその思いを共有している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>入居前には出来るだけ自宅を訪問し、生活環境の把握に努めている。写真等で全職員が把握できるようにしている。本人家族等からの聞き取りで、生活歴等の情報を得ている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>入居後は24時間シートを活用し1日の生活のパターンを把握、またその方の思いの把握にも努めている。その方と一緒に過ごし出来ること・出来ないことを判断し、それにより個別マニュアルを作成、全職員で共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当職員が毎月介護計画に沿った支援が出来ているかモニタリングを実施。入居者の状態に変化があった場合、その都度カンファレンスを行い計画書に反映させている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や変化・気付いた事等個別記録に記入、職員間で情報を共有している。必要あればカンファレンスを行い計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人の状態の変化やその時のニーズに対して、法人全体で取り組んでいる。時には他の専門職の方からの意見も頂き、その方のニーズに沿った支援を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の催しや行事には極力参加している。ボランティアの方も施設に来られ、催し物をして下さったり行事に参加されたりしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>定期的に主治医の往診がある。その他にも眼科・歯科等入居者のかかりつけ医を受診出来るようにしている。家族の付き添いが難しい場合には付き添いの支援を行い、受診後には家族・主治医に報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者の体調に変化があった場合には、看護職員に電話等で報告又、指示依頼書・経過報告をFAXし、指示を仰いでいる。 夜間の急変時にも連絡できる体制を整えている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中には医療機関に情報提供を行い、病院関係者との情報交換や相談に努めている。 家族と一緒に病状説明に立ち会い、方針について共に検討するようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時には看取り対応について説明し、入居者・ご家族の思いを尊重し状態の変化と共にその都度、思いの確認を行っている。 またカンファレンス等を通じて主治医や看護師・職員間で情報の共有に努めている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>定期的に研修会を実施している。 マニュアルを作成し全職員が対応できるように取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に防災訓練を実施している。 日中はもとより夜間を想定した訓練も実施している。 地域の消防団や消防署とも連携し、避難場所・連絡方法・協力体制の確認や指導を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者一人一人の人格尊重の為、ケア方法・声かけ・接し方をその入居者に合ったものとしている。 誇りやプライバシーの尊重の為環境に配慮した言葉かけをしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者の訴えだけでなく、表情・仕草・会話の中から思いをくみ取り、望まれている事を自己決定・表現できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者それぞれの意向・生活習慣に合わせた生活が送れるよう支援している。 活動についても相談しながら決定し、希望に基づいたものとしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	髪の状態に合わせて理容師に依頼し、施設にて散髪して頂いている。 化粧品等の購入は一緒に買い物に行きおしゃれ・身だしなみに気を付けていられるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理や下ごしらえ・盛り付けを一緒に行う事で食事準備・片付けに参加して頂き楽しんでもらっている。 食物品目について、好き嫌いや摂取能力に合わせて、おいしく召し上がって頂けるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量・水分摂取を記録し，確認している。入居者一人一人の食べる量，能力に合わせて，刻みや・ミキサー食の形態でも提供している。嗜好に沿うもの・食べやすい環境を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>入居者それぞれの状態に応じて毎食後の口腔ケア・義歯の洗浄を支援している，洗面所への移動・声かけ・義歯洗浄剤の使用等，個々に適した支援を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレの誘導や声かけは各入居者の排泄パターンに合わせて行い，トイレでの排泄を維持していけるよう支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の確認を行う事で，便秘の予防を行っている。ヨーグルト等乳食品を取って頂く事や，腹部マッサージや歩行運動と一緒に排便しやすくなるよう支援している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者の入浴方法・時間等希望に沿えるよう支援している。入浴後の衣服についても一緒に選んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	入居者をそれぞれの体調や生活習慣に応じた睡眠休息を取って頂いている。安心して過ごして頂けるよう、希望に応じてソファや居室、テーブル席へ誘導している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の目的、用法、用量、副作用は薬台帳で確認している。服用時には誤薬の無いよう名前、日付を復唱している。薬の変更に対して、変更理由を確認して確実な服用を支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居者個々の活動を、カンファレンスにより生活歴や能力に応じた活動表にまとめ、それにならって実践している。退勤時、記録により振り返りを行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者の希望により外出し、それぞれの季節を感じて頂き、地域の方と接して頂いている。家族との外出に対して福祉用具の貸し出しや介助方法のアドバイスをを行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	外出時に入居者が購入される場合支払いの見守りにて支援している。希望される物を職員が購入してくる事で、買い物に出られない入居者の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人や家族の希望に応じて、電話が使用できるようにしている。また手紙を送りたいと希望される時には投函等の支援を行っている。必要であれば内容を確認して会話の橋渡しをしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	落ち着いた空間作りに努めている。入居者の意向を取り入れて、一緒に花を生けたり掃除を行い、なじみの空間となるように工夫している。温度や湿度、照明等にも配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共同空間には複数で座れるソファを配置したり、一人で座って外を眺められる場を設けて、思い思いに過ごす事が出来る空間を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れたものや家具を自由に配置して頂いている。入居時には持って来られる物や配置など本人や家族と相談しながら部屋づくりを行っている。掃除や物の配置なども入居者に確認し相談しながら行っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室やトイレ・風呂など日常に使用される場所が分かりやすいように、暖簾や表札の啓示を行っている。目のつく所にはカレンダーを設置し、日付が分かるようにしている。洗濯機のボタンに番号符を付けるなど自分で操作・作業が出来るように工夫している。		

V アウトカム項目(ひだまり)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(こもれび)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ふれあいの家 えんや

作成日 平成27年9月26日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	・運営推進会議への家族の参加が少ない。 ・入居者の参加が無い。	・ご家族への会議の周知を行い、参加頂ける環境を整える。 ・入居者が参加できるよう、もしくは意見を伝えられる場を作る。	・全家族へ会議について再度説明し開催日等を伝えていく。 ・会議の結果を家族に送り、内容を伝えていく。 ・日頃より、入居者の思いを聞き取っていく。 ・入居者に会議への参加をお願いします。	年内 家族の参加、結果の送付は9月より実施
2	2	・気軽に立ち寄れる場所づくりに向けての取り組みを、さらに深めてほしい。	・地域との交流を、さらに深める。 ・認知症カフェ等、場所づくりの為の知識を得る。	・地域の方と職員、入居者がもっと知りあえるよう、地域の行事への参加や日頃からの挨拶等を重ね顔を覚えて頂く。 ・職員に認知症カフェ等、場所づくりの為の考え方を知識を得てもらう為、研修や実施場所見学に行く。	年内 認知症カフェの見学は10月実施
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。